

**MONGOL800のキヨサクさんがオリジナルの歌詞を歌い上げる
JT 企業広告『想うた』シリーズ最新作「仲間を想う」篇がスタート**

**プライベートでも“仲間”の二人が「友情」をナチュラルに表現
北村匠海さん & 矢本悠馬さん出演**

2月22日(金)から全国で放映開始



日本たばこ産業株式会社（以下 JT、本社：東京都港区、代表取締役社長：寺島 正道）は、企業広告『想うた』シリーズの最新作「仲間を想う」篇を2019年2月22日(金)から全国で放映開始いたします。

JTは、「ひとのときを、想う。」という企業思想のもと、「かけがえのないひととき」や「大切な時間」を想う企業だからこそ生み出せる価値を、お届けしたいと考えています。人が人を想うこと。自分のことだけではなく、人の気持ちを想像し、想い合い、認め合うこと。いま望まれているのは、そんな世の中なのかもしれません。2018年6月よりスタートした、たいせつな人への“想い”を“うた”にのせて届ける企業広告『想うた』シリーズの最新作「仲間を想う」篇を2019年2月22日(金)から全国で放映開始いたします。

第三弾となる今回の「想うた 仲間を想う」篇は、人気若手俳優の北村匠海（きたむら たくみ）さんが今作も主人公。高校時代からの友人役に、北村さんと数多くの作品で共演し、クリスマスと一緒に過ごすなどプライベートでも親しい、矢本悠馬（やもと ゆうま）さんを起用。公私ともに仲の良い二人が演じる青春時代の回想シーンを軸に展開。多くを語らずとも、心は通じ合っている、そんな友情をテーマに、MONGOL800のキヨサク(Vo&Ba)さんのオリジナルの“うた”にのせて物語を展開。今回はテーマに合わせて、明るくポップな曲調にアレンジした楽曲にも注目です。

過去のシリーズでは、SNS上で「泣ける」「胸がギュッとなる」など多くの反響をいただいた「想うた」シリーズ。ご自身の青春時代と重ねながら本CMをお楽しみください。

また、『想うた』スペシャルサイト限定で、「笑い」「涙」「挫折」など、エネルギーだった青春時代の思い出を詰め込んだWEB限定スペシャルムービーも公開いたします。

『想うた』スペシャルサイト：https://www.jti.co.jp/omouta/?utm_source=release3

■ 第三弾「想うた 仲間を想う」篇 ストーリーボード (30 秒)

セリフ

音楽



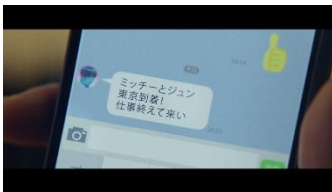
優人：
「本当にすみませんでした」



友達だとか



抱き合いもする



親友だとかは変で



振り向けばいる



カズキ：
「おう、優人」
ミッチー・ジュン
「おう！」



肩組んで笑う



腐れ縁なだけなのに



そばにいやがる



またな

喧嘩もするし



嗚呼

■ 企業広告『想うた』シリーズについて

JTは、「ひとのときを、想う。」という企業思想のもと、「かけがえのないひととき」や「大切な時間」を想う企業だからこそ生み出せる価値を、お届けしたいと考えています。

人が人を想うこと。自分のことだけではなく、人の気持ちを想像し、想い合い、認め合うこと。いま望まれているのは、そんな世の中なのかもしれません。

そこで、2018年6月より、たいせつな人への“想い”を“うた”にのせて届ける企業広告『想うた』シリーズを展開していきます。また、本シリーズは、「第57回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール（テレビ広告部門メダリスト）」に選ばれました。

■ 第三弾「想うた 仲間を想う」篇の見どころ

- ストーリー：“お互いを励まし合いながら今の自分を支えている、地元の仲間とのささやかな友情”
北村さんが演じる主人公「村上優人（むらかみ ゆうと）」は、地方出身の東京で働く会社員。会社でのミスに落ち込む彼に、地元の友人である矢本悠馬さん演じる「カズキ」から飲み会の誘いのメールが届きます。そこにいる、高校時代の友人たちとの“告白”、“ケンカ”、“最後の試合”……。あの時を一緒に生きた仲間がそれぞれに成長し、大人になった今でも、会えばすぐあの頃に戻れる。ただいつも何となくそばにいて、バカなことに笑い合った青春時代。多くを語らずとも、心は通じ合っている。そんな誰もが共感できる、ばかばかしくもいとおしい仲間との友情を描いています。主人公、北村匠海さんと友人役の矢本悠馬さんらとの息の合った演技は必見です。
- 楽曲
前回に引き続き、CMで流れる楽曲の歌詞は、本CMのクリエイティブディレクターで、数々のCMソングを手掛ける篠原誠さんが担当。その歌詞を基にMONGOL800のキヨサク(Vo&Ba)さんが作曲し、歌い上げています。楽曲自体は変えないながらも、今回はキヨサクさんの提案により、学生時代の回想シーンに合わせ、明るくポップな曲調にアレンジし構成しています。

■ 出演者コメント

[出演／北村匠海さん]

・「想うた 仲間を想う」篇に出演した感想と、見どころ

第三弾は「仲間を想う」篇ということで、学生の時から仲の良い4人組の物語を演じさせていただきました。部活やちょっとしたケンカだったり、でも、社会人になって久々に集まったら、あの時と変わらない笑顔になれる存在とか、かけがえのない、同性ならではの、不思議な空気感だったり、線のようなものを感じながら撮影していました。親友役である矢本悠馬さんも、昔共演したことがあって、そういう不思議なご縁の中で撮影してたので、男同士の友情って、「暑苦しくて、でもさわやかで、なんかすごく前向きで見ていてまぶしい」といったことを感じながら撮影していました。そんな空気感をこのCMにギュッと詰め込んでおります。

・矢本悠馬さんと共演されての印象

矢本君とは、共通の友人がいたり、プライベートでも親しくさせてもらってます。僕よりだいぶ年上なんですが、すごくフランクに同じ目線で接してくれる先輩です。今回の現場は、矢本君が中心になって、ひっぱってくれて、アドリブで構成されている撮影だったんですが、矢本君との友情ともいえるお互いの信頼関係もあり、周りの二人のことも、すごく引き出してくれたので、この作品は矢本君を中心に良いものができるなあと、撮影をしながら思っていました。第二弾「想うた 愛する人を想う」篇で共演した石井杏奈さんとも矢本君とも、3人で以前同じドラマで共演しているので、今回、不思議な縁を感じました。

[出演／矢本悠馬さん]

・「想うた 仲間を想う」篇に出演した感想と、見どころ

前作も「短い中で物語があって泣ける作品だな」と思っていて、今回僕たちはそれを越えようと思って撮影に臨みました。僕が演じた役は4人グループで周りに気を使ってみんなを盛り上げていく、という役どころで、僕自身も学生時代は人を笑わせることも楽しませることも好きでしたし、周りを見て生きている感じだったので、昔を思い出しながら演じさせて頂きました。多分、男子4人じゃないと出なかったというシーンがたくさん詰まっていたり、特に男性の方は、「あーこういうくだらないことで笑ったな」「こういうことで傷ついたなみたいな」と、懐かしみながら見られる作品になっていると思います。

・北村匠海さんと共演されての印象

匠海とは何回も共演してますし、安心感がありましたし、信頼関係もあるので、役者としてお互いにやりやすかったと思います。匠海は昔から大人っぽくて、割と静かで、落ち着いてて、元々、スペックも高いし（笑）。いい役者だと思っています。プライベートでも、去年クリスマスと一緒に過ごしました。二人で、二人ともクリスマスってことは知らなかったんですけど、遊んでいる途中で気づきましたね（笑）。僕はある程度、歳がいつているので（笑）。

■ 撮影現場のオフショット



■ 撮影エピソード

◇ 普段から仲良かったからこのアドリブにスタッフも驚嘆

腐れ縁の4人の“付かず離れずの仲の良さ”をどれだけ表現できるか？が今回の撮影のポイントでしたが、出演者4人のうち、3人が過去に共演していたこともあり、撮影初日の1テイク目から昔から仲の良い4人のようでした。

お芝居も、自然な友人関係を表現するために、撮影する直前に流れや動きなど、ざっくりとした説明のみで、細かい言葉のやり取りなどは基本的に出演者のお任せに。特に、部屋飲みでのポテチを使ったインディアンポーカーは、4人の完全なアドリブで、「それって実際にはやってるんですか？」と監督が聞いたら、「今、考えました」と。周りにいたスタッフも思わずうなされました。

◇ 決まってしまうNGに！？

映画でもバスケットボール部員を演じた北村さん。今作でも登場する高校時代のバスケットボールの試合のシーンでは、北村さんがシュートを外し、敗北に涙するという展開。しかし、北村さんが放ったシュートは、1テイク目からばっちり決まってしまうNGに。その後もシュートのシーンを重ねて撮影しましたが、何本かは見事な放物線を描き、ゴールに吸い込まれました。

◇ 回想シーンならではの厳しさも自然と表現

同じく、バスケットボール部の回想シーンでは、試合に至るまでのランニングやスクワットの基礎練習のシーンも。現在28歳の矢本さんは、「高校時代であればそんなに体にガタとかこないんでしょうけど、スクワット状態で足をキープさせるシーンが一番きつかった」とおっしゃっていました。「そんな中、監督がやけに長回してた」と恨み節(?)も。「キツイ、キツイ」というセリフも、他のシーン以上に自然に表現されたようです。

■ 『想うた』スペシャルサイトについて

『想うた』スペシャルサイトでは、スペシャルムービーの他、CMメイキング映像、出演者インタビュー、撮影時のオフショット、登場人物紹介やグラフィック・歌詞などをお楽しみいただけます。

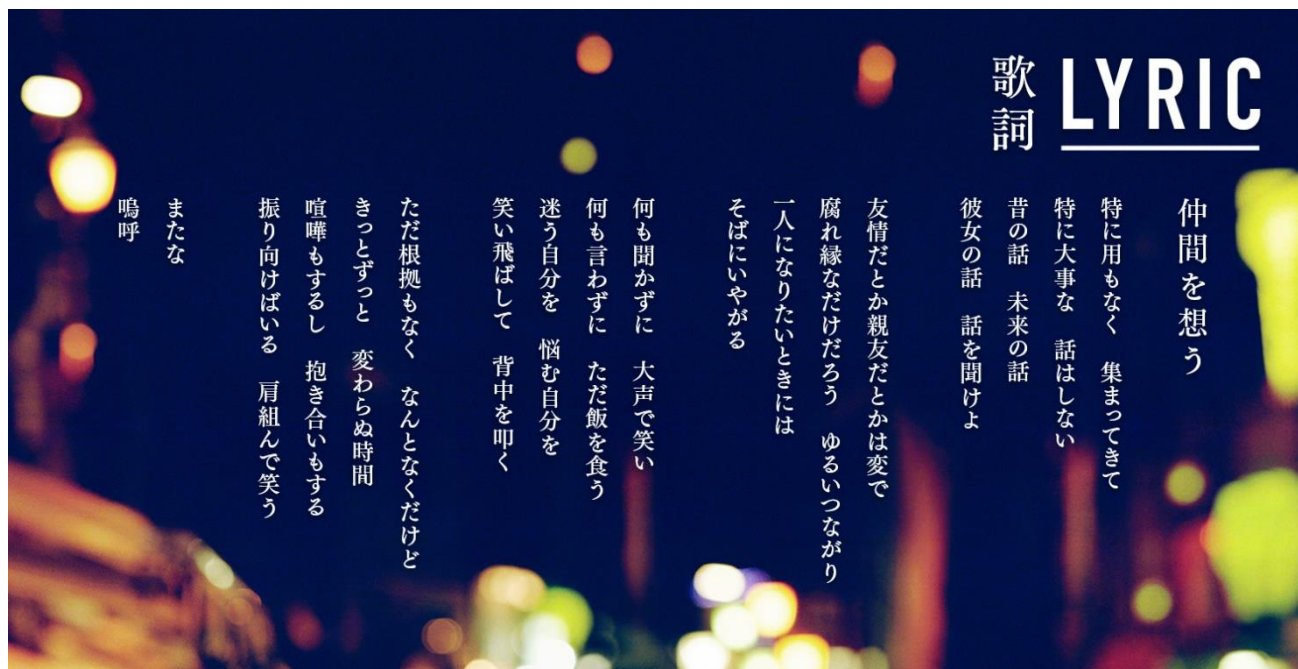
『想うた』スペシャルサイト：https://www.jti.co.jp/omouta/?utm_source=release3



■第三弾「想うた 仲間を想う」篇 楽曲歌詞

『仲間を想う』

歌・作曲：キヨサク（MONGOL800）／作詞：篠原誠



■作詞 コメント

【作詞／篠原誠さん】

僕自身が地方出身ということもあるのですが、学生の頃の男友達は、仕事をしている今の自分を、その頃に一瞬にして戻してくれる存在。かと言って、そんなに感動とか親友だよな！みたいな暑苦しい存在ではなく、ただただいつもの自分でいさせてくれる、そんな軽やかな友情を描きたいと思いました。「想うた」シリーズは、曲・ストーリーともに周りからも好評で、JAA 広告賞でも、消費者が選んだ広告として選ばれたことは、大変うれしく思っています。

「ひとのときを、想う。」それは、人のことを想うということ。親子だったり恋人だったり仲間だったり今回でしたが、人と人には兄弟や上司部下などなど、もっとたくさんのパーソナルな関係性があるので、その想う気持ちを広げていければと思っています。想うたにのせて。

■ 出演者・作詞・作曲者プロフィール

◇北村匠海 [主人公]

1997年11月3日、東京都生まれ。2008年「DIVE!!」で映画初出演。2017年「君の臍臓をたべたい」で第41回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。ダンスロックバンド・DISH//（ディッシュ）のボーカル&ギターとしても活動している。土屋太鳳とボーカルユニット「TAOTAK」を結成。

◇矢本悠馬 [主人公の同級生役]

1990年8月31日、京都府生まれ。2013年『ぼくち』でスクリーンデビュー。近年では、2018年連続テレビ小説『半分、青い。』、『今日から俺は!!』に出演。現在は『トレス ～科捜研の男～』、『スペシャのヨルジュウ♪』(VJ)に絶賛出演中。今後は『映画 賭ケグルイ』、『アイネクライネナハトムジーク』など話題作の出演を控えている。

◇キヨサク (MONGOL800) [作曲]

1981年2月15日、沖縄県生まれ。3ピースバンド MONGOL800 の Vo & BASS、作詞・曲を担当。ソロ活動では他アーティストとのコラボレーションや楽曲提供、プロデュースなども手掛けている。2013年より UKULELE GYPSY として日本各地を旅するなど枠にとらわれない柔軟なスタンスで、さらなる音楽活動に広がりを見せている。

◇篠原誠 [作詞]

クリエイティブディレクター・CMプランナー。au 三太郎シリーズなど、マスからデジタル・店頭までのトータルコミュニケーションの構築を得意とする。三太郎シリーズで桐谷健太さん演じる浦島太郎が歌う「海の声」の作詞やドラマの脚本なども手掛ける。2015年の「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を受賞。